

令和5年度における四條畷市野外活動センターの管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 青少年育成課

(令和6年度からスポーツ・青少年課)

評価対象：令和5年4月1日～令和6年3月31日

評価委員会開催日：令和6年8月23日

1 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人ナック
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
施設概要	市民が余暇時間の活用として日常生活から離れ、豊かな自然環境の中で、森林浴や日光浴などを通じて、心身のリフレッシュを図るとともに、新たな仲間づくりやコミュニティづくりを進めることを目的とする。
指定管理料	13,310,000円（令和5年度、税込み）

2 管理運営の内容

項 目	令和5年度の状況
運営状況	<p>(1) 平等利用の確保</p> <p>①公平化と利便性を図るため、利用申込みは電話で受け付け、利用料金や利用システムなどの情報を提供し、対象や活動内容を確認した上で、利用者が活動しやすい場所への案内やプログラム援助などを行い、安全で安価に利用いただけるよう努めた。また、メールやFAXでの問い合わせにも対応した。</p> <p>②高齢者、障がい者など幅広い層に等しく利用の機会を提供するため、対象や活動内容・ニーズに配慮した活動場所の調整、利用申請書記入方法や料金体制の情報提供など利用のアドバイス、駐車誘導など当日の援助に努めた。スロープの草枝伐採や通路の清掃にも心がけ、グラウンド入り口からスロープ入り口までを舗装修繕することで、車いすの方が行き来しやすく利用しやすい環境を整えた。</p> <p>(2) 自主事業の展開</p> <p>①「星のがっこう」では参加者自ら望遠鏡を操作する「体験型天体観望会」を継続実施している。また、大阪府内で唯一となる「星のソムリエ®養成講座」も継続実施している。</p> <p>②就学前の幼児を預かり実施する「森のようちえん」を年間クラブ事業として取り組んだ。前年度に引き続き、土曜日コース・日曜日コースを開催した。</p> <p>③小学生を対象に年間事業「畷の森 子ども自然と遊びの森」を実施した。大学生アウトドアリーダーを中心にプログラムを企画実施して、施設内や周辺の自然環境を活用し、プログラムを展開した。また、小学生を対象に、宿泊キャンプを夏休み期間中に2回、秋の連休に1回、冬休み期間中に2回、春休み期間中に1回実施した。</p> <p>④家族間での自然体験の共有と親子間のコミュニケーション促進をコンセプトとした「竹を使った流しそうめん」「クリスマスリース作り」などのほか、星に特化した宿泊型のファミリーキャンプを実施した。</p> <p>⑤市民オープンイベントとして、7月にサマーフェスティバル「キャンプ場開き」、11月にユースフェスティバル「みんなでソラにおいでよ」を開催した。</p> <p>⑥市内の引きこもり児や不登校児を対象とし、四條畷市教育支援センター、適応指導教室「フリールームなわて」と連携した自然体験キャンプを継続実施した。</p>

維持管理状況	<p>(3) 施設の情報提供</p> <p>①四條畷市広報誌及びホームページ、「Facebook」「Instagram」などのSNS等の活用で、施設と自主事業の情報を紹介しています。また、SNS等に季節毎の四條畷の自然の風景や天体などの情報を頻繁に発信することにより、より多くの方々に自然や野外活動に関心を持っていただけるよう努めた。</p> <p>②ウェブのバーベキュー情報サイト数社の登録を行い、各方面への情報発信に随時努めた。</p> <p>(4) 安全確保対策</p> <p>①施設運営における各種マニュアルを備え、それに沿った対応を図るよう常に努めており、事故があった際の対応は、事故等管理体制を基に対応する。防災対策は班組織を組んで実施する。なお、自主的におこなっている消防訓練の際には、AEDの取り扱いについても熟知するよう努めた。</p> <p>②今年度の新型コロナ感染状況から、通常の利用者対応に戻した。しかし、従来通りに除菌アルコールなどの設置は続けた。利用者の安全で安心な活動のため、トイレを始め場内の整備清掃に努めた。</p> <p>(5) 保守点検</p> <p>①職員の出勤時・帰宅時にサイト内点検を行い、施設内に異常がないか、日々の確認と点検に努めた。破損箇所は職員の作業で簡易補修、または業者の修繕とし、利用者が安全で安心な環境で野外活動を楽しんでいただくための整えに努めた。</p> <p>②専門的な業務、合併浄化槽の保守点検や消防設備の点検については、業者に委託した。</p> <p>(6) 清掃業務</p> <p>①利用者が快適に活動できるよう、受け入れ前の活動場所の清掃は、日々職員で実施した。</p> <p>②職員は、利用者の活動中に現場の様子を見に行き、自炊場の水場の清掃やトイレの点検などを実施した。土日等の多くの利用後はゴミ拾いを行い、キャンプ場内にゴミがないようも努めた。</p> <p>(7) 警備業務</p> <p>①夜間警備や火災警備については、保安機械警備として業者委託した。</p> <p>(8) 環境への配慮</p> <p>①電気使用量の削減として、照明機器をLED蛍光灯などへの切り替えを進めた。</p> <p>②ごみの減量、資源化の推進として、段ボール、缶類等の資源等については、適切な業者を選定して回収を受けるなどリサイクルに努めた。また、感染防止対策の一環として、特殊な事情がない場合はゴミを持ち帰りいただいた。</p>						
利用状況	<p>利用者の増加を図るため、魅力あるプログラムの拡大と充実や団体・グループのニーズに合ったパッケージプログラムの提供、学校教育団体・幼稚園の利用促進、優良な自然体験キャンプの提供、ファミリーや幼児に特化した設備やプログラムの充実に努めた結果、日帰り利用者数は9,407人（令和4年度は9,250人）、宿泊利用者数は417人（令和4年度は563人）、合計9,824人（令和4年度は9,813人）であった。</p> <table border="1" data-bbox="486 1787 1109 1899"> <tr> <td>・日帰り利用者数</td> <td>9,407人(157人増)</td> </tr> <tr> <td>・宿泊利用者数</td> <td>563人(146人減)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,813人(11人増)</td> </tr> </table>	・日帰り利用者数	9,407人(157人増)	・宿泊利用者数	563人(146人減)	合計	9,813人(11人増)
・日帰り利用者数	9,407人(157人増)						
・宿泊利用者数	563人(146人減)						
合計	9,813人(11人増)						
収支状況	<p>当年度収入23,086,932円（指定管理料収入:13,310,000円、使用料収入:1,204,650円、自主事業収入:7,567,400円、雑収入:1,004,882円）に対し、支出22,217,813円、収支は869,119円の黒字。</p>						

3 利用者へのアンケート調査

項 目	令和5年度の状況
調査の実施内容	実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月1日 対 象：施設利用者 調査方法：利用者（家族、団体の代表者）にアンケートの回答を依頼 回答件数：102件
調査の結果	主な質問と回答 ①利用回数：「初めて」39件、「2～9回」54件、「10回以上」8件 ②施設を何で知ったか：「以前から利用経験あり」52件、「HP」28件、「友人から」11件、「BBQ等の情報サイト」6件、「市広報誌」3件、「Facebook・Instagram」3件 ③施設の印象：「良い」96件、「ふつう」5件、「良くない」0件 ④スタッフの対応：「良い」98件、「ふつう」4件、「良くない」0件
主な苦情・意見等とその対応	【要望】シャワーのお湯がなぜか出なかったので寒かった。 【回答】点検不備でご迷惑をおかけした旨、丁重にお詫び申し上げた。その後お湯が出るように修繕した。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<p>既存のプログラムに頼ることなく、新たなプログラムを充実させ、施設を何度もめいっぱい楽しめる工夫をされており、リピーターの利用者にも好評いただき、何度も利用いただけていることも窺える。</p> <p>また、小学校を始めとする市の機関や関係団体の事業にも協力し、市との連携が取れていることも評価できる。</p> <p>利用者アンケートから、施設の印象やスタッフの対応など従前と同様に高い評価を受けたことは、施設の運営や維持管理を継続的に努力している成果として、また新たな事業を展開するとともにホームページ・SNSなどを活用した情報発信に努めていることが利用者の増加、収支状況の黒字につながっていると考えられ評価できるが、今後さらなる広報活動、情報発信をすすめ、初めての利用者や市外利用者の数を伸ばしていただきたい。</p> <p>以上の内容から、「計画内容をやや上回るため努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果